

ホストタウン事業の準備状況について

区は、ジンバブエ共和国のホストタウンとして、事前合宿の受入れや選手と区民等による事後交流などを予定しています。

6月21日、同国の出場選手の決定が遅れている現状などを踏まえ、区は、オリンピックの事前合宿及び事後交流を実施しないことについて、同国と確認しました。

区は、引き続き、同国のコロナ対策責任者（以下「CLO」といいます。）や大使館職員などの関係者と連携し、パラリンピックの事前合宿や事後交流等に関する準備を進めます。

1 経緯

IOC、IPC及び組織委員会は、各国NOCとNPCに対し、各国選手団における感染症に関する全ての事項の責任を負うCLOの任命を義務付けています。

CLOは、選手等が、出発前及び日本滞在中にプレイブック（※）に掲げる全てのコロナ対策を実施していることの確認や陽性者発生時の組織委員会等との連携などを担うとともに、IOCやIPC、組織委員会、国内の保健当局との連絡窓口を担います。

※ プレイブック

IOC、IPC及び組織委員会の3者が、アスリートやチーム役員、競技パートナーなどの大会関係者が、大会期間中に遵守すべき感染対策をまとめたもの。

2 受入の内容等

ジンバブエ共和国について、オリンピックの事前合宿や事後交流の実施はないものの、6月下旬にオリンピック出場選手が決定しました。

○ 出場競技・選手：競泳2名、陸上競技1名、ボート1名及びゴルフ1名の計5名

氏名	出場競技
カタイ ドナ アンドラ ソフィア KATAI DONATA ANDRA SOFIA	競泳
ウェッツアラー ピーター チャールズ WETZLAR PETER CHARLES	競泳
マクシャ ノニ メスクヘラ MAKUSHA NGONI METHUKHELA	陸上競技
パーセル-グリピン ピーター シーン リチャード PURCELL-GILPIN PETER SEAN RICHARD	ボート
ヴィンセント スコット ニコラス VINCENT SCOTT NICHOLAS	ゴルフ

また、パラリンピックの出場競技・選手については、6月29日、CLOから次のとおり連絡があり、事前合宿の受入等について、引き続き、調整を進めます。

- 出場競技・選手：陸上競技4名、競泳1名、パワーリフティング2名、
バドミントン2名の計9名の選手

(1) スクリーニング検査

ホストタウン事業では、選手等に対する毎日のスクリーニング検査を実施します。都内のホストタウン事業の同検査については、東京都が検体の受取から検査までを一括で委託します。

- 受託事業者：株式会社江東微生物研究所

(2) 宿泊先や移動手段の確保

オリンピック出場選手は、入国後、組織委員会が用意する専用バスに乗車し、直接選手村に入村します。

パラリンピック出場選手は、事前合宿地として区が同国を受け入れる場合、宿泊先や移動手段を区が相手国と協議し確保します。現時点では、引き続き、調整中です。

(3) 交流事業等

① オリンピック

出場選手の決定が遅れている現状等を踏まえ、事前合宿及び事後交流は行いません。

② パラリンピック

ア 事前合宿の受入に向けて調整します。

イ 競技終了後の区民等との事後交流については、オンラインによる交流も含め、実施方法や規模を検討しています。

3 今後のスケジュール（予定）

令和3年7月中旬～下旬	選手団の来日（オリンピック）
23日	オリンピック開会
8月中旬	選手団の来日（パラリンピック）
	事前合宿（パラリンピック出場選手）
24日	パラリンピック開会
9月上旬	事後交流（パラリンピック出場選手）